

ちいきの大学

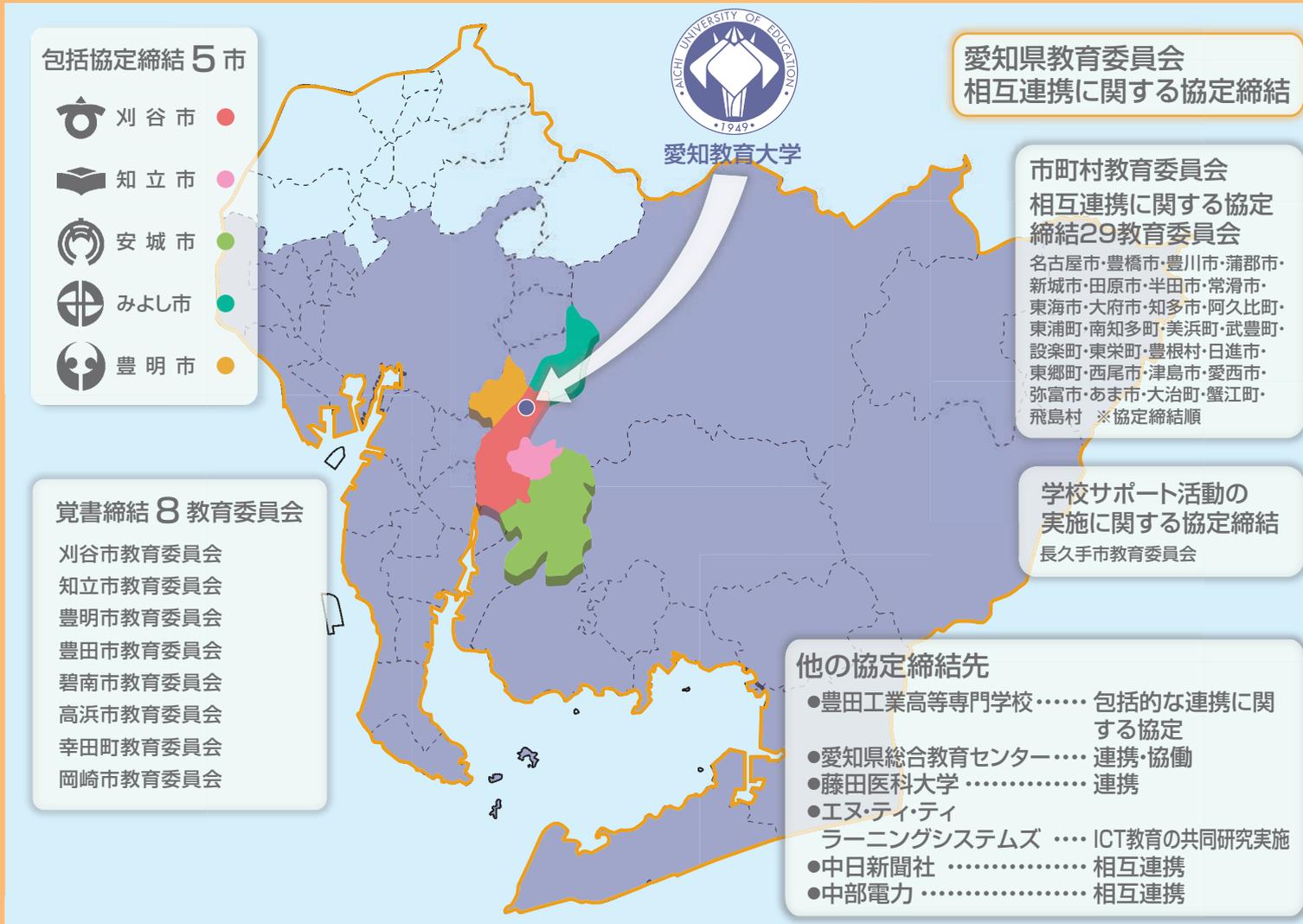


16号

Contents

- 地域連携センターの主な活動
- 外国人児童生徒支援
- 大学の地域貢献
- 自治体・教育委員会との連携
- 企業連携・地域活性化
- 2019(平成31)年度 愛知教育大学 公開講座 開設一覧

愛知教育大学は教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、広く社会と連携し、教育研究の成果を還元しながら社会の発展に貢献します。



ちいきの大学をめざして

地域連携センター長 大村 恵

愛知県は、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進拠点であるユネスコスクールが163校(2018年10月現在)を数え、日本で最もユネスコスクールの多い県です。本学は加盟大学として、加盟申請支援と加盟校の充実支援に取り組んでいます。ユネスコスクールの取り組みは、文部科学省が推進する「次世代の学校」、すなわち地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」や、保護者や地域住民の学校運営の参加を促進するコミュニティ・スクールの理念・内容と響きあっています。

一方、本学の教育課程改革において、学生がさまざまな活動に参加して、多様な子どもたちの生活環境に直接触れたり、感性を磨いたりすることで、豊かな人間性と現代的諸課題への対応力を育むために、すべての1年生・2年生が学校サポート活動入門/Iに取り組んでいます。

学生と教員が地域活動に参加する中で、地域とともに成長できる大学を目指したいと思っています。皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

地域連携センターの主な活動

地域連携フォーラム

12月8日(土)、豊橋市男女共同参画センターにおいて、「地域連携フォーラム2018」を開催しました。

今年度は、共同研究を行ってきた藤田医科大学と共同主催で、「医教連携によって開発した食物アレルギー等緊急時対応プログラムの実践—そなえる&ふせぐ 安心な学校づくり—」をテーマに行いました。また、豊橋市教育委員会も共催に加わっていただき、会場提供をいただきました。当日は、小中学校の管理職や養護教諭を中心に、主に東三河地区から100名の参加者があり、会場は満席となりました。



前半は、食物アレルギー緊急時対応プログラムの内容と実施状況報告、学校現場での食物アレルギー対応と課題についての紹介、アナフィラキシー症状などの実際の写真や音声による具体例を交えた説明が行われました。

後半は、人形と練習用注射器を用いて参加者全員が実際にシミュレーションを体験しました。また、実際に起こった誤食事故の事例分析を行い、学校におけるアレルギー対応体制についての説明がありました。

参加者からは、「緊急性が高い症状について画像や音声で分かりやすく教えていただけてよかった」などの感想が聞かれ、今後につながる有意義なフォーラムとなりました。

愛知県ユネスコスクール指導者研修会

12月14日(金)、愛知県産業労働センター ウィンクあいちにおいて、「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。本研修会は、文部科学省の「日本/ユネスコパートナーシップ事業」により、ユネスコスクール活動支援の一環として企画したものです。

公益財団法人ユネスコアジア文化センター (ACCU) シニアアドバイザーであり、ESD活動支援センター次長の柴尾智子氏による「学校と地域の連携についてESDの視点から考える」をテーマとした講演のほか、ユネスコスクール実践発表として、今年度は校種毎の分科会を設け、幼稚園と小学校の分科会では東京都大田区立赤松小学校、名古屋市立桶狭間幼稚園、知立市立知立南小学校から発表があり、中学校と高等学校の分科会では、岡山県立和気閑谷高等学校、岡崎市立竜南中学校、豊橋中央高等学校より発表がありました。環境教育、国際理解、地域の伝統文化など各学校の特色を生かしたESD活

動の実践が報告され、分科会毎に活発な意見交換が行われました。

実践発表後に行われたまとめの全体会では、各分科会の報告に続き、6校の実践発表者から、苦労してきた点、ESD活動で変容した点について意見感想が述べられ、未加盟校の参加者にとっても、今後のESD活動への取組みに対して参考になる有意義な研修会となりました。



高校訪問授業

高等学校と大学との連携の一つの形として、大学で実際に行われている講義・授業等を身近に体験することで、高校生の大学に対する理解を深め、進学意欲を高めるとともに、今後の学習意欲を喚起することを目的に高校訪問授業を実施しています。

平成30年度は、愛知県内外の32の高校へ本学教員が出向き、約1,600名の高校生に大学の模擬授業を体験していただきました。

高校訪問授業の実施や申込等については、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html>



教員派遣・講師派遣

地域連携センターでは、講演会・研修会等の講師や研究会での指導・助言者、各種審議会等の委員など、学校や教育委員会、地方公共団体など、地域からの相談や要請に合わせ、マッチングやコーディネート等を行ったうえで、各種派遣を行っています。

詳しくは、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/instructor.html>

自治体・教育委員会との連携

教育委員会との新規連携協定・覚書

本学は、10月2日(火)に海部地区4市2町1村と相互連携に関する協定、2月18日(月)に幸田町教育委員会と連携に関する覚書、3月8日(金)に岡崎市教育委員会と連携に関する覚書を締結し、協定等の締結により連携する愛知県内の教育委員会は40教育委員会となりました。各教育委員会と相互に連携をすることで教育上の諸課題の解決と充実を図り、教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、さらに地域との連携を深めていきたいと思っています。



愛知県内教育委員会地域教育連携推進協議会

12月18日(火) KKRホテル名古屋において、「愛知教育大学・愛知県内教育委員会地域教育連携推進協議会」を行いました。

今回で17回目となる協議会では、本学の地域との連携事業に関する報告や学生ボランティアに関する話題など、活発に意見が交わされました。本協議会の改編についての協議では、全体会と課題ごとの分科会を設けるなど、協議会の在り方について今後更に検討を進めていくことで了承を得られました。また、本学の大学改革の現状についても協議され、様々な意見が述べられました。

教育委員会との共同開催事業

8月6日(月)~8日(水)に、本学教育未来館2階講義室2A及び3階講義室3Aにおいて、教育委員会との共同開催事業として、本学と連携協定等を締結している教育委員会の教育委員等を対象とした連携公開講座が行われました。

この教育委員対象の講座は本学では初の試みとして行われ、3日間のプログラムのうち、多忙な教育委員の方々のご自身の都合の良い日程・時間で参加していただける企画とし、3日間で延べ21名の教育委員を始めとする教育委員会関係者の方が参加されました。

「新しい学校づくりとチーム学校とは何か」、「教育行政の働き、学校財務制度」、「多忙化解消プロジェクトを事例としたリーダーシップとカリキュラムマネ

ジメント等」、「学級・学年経営の進め方(こどもの集団作り)」、「教育委員の使命と教育委員会制度」、「小学校英語を事例としたこれからの教育実践」について講義を行いました。毎回講座終了後には情報交換会が設けられ、他市の教育委員等との交流もでき大変有意義な講座となりました。



近隣市首長等による講義

教育支援専門職養成課程2年生向け授業として後期に開講されている講義「実践地方自治概論」(担当教員:水谷仁非常勤講師、西尾圭一郎准教授)において、本学が連携協力に関する包括協定を結んでいる近隣5市(刈谷市、知立市、安城市、みよし市、豊明市)の市長、副市長による地方自治の実践に関する特別講義が実施されました。授業は、前半7回を座学で地方自治や政治の基礎を学び、その上で地方自治の実践家による特別講義を聞くという形式で展開しました。連携市による特別講義の第1回は12月10日(月)に行われ、安城市の神谷学市長がご登壇されました。その後、12月17日(月)には刈谷市の川口孝嗣副市長が、1月28日(月)にはみよし市の小野田賢治市長が、2月4日(月)には知立市の林郁夫市長が、そして最終回の2月18日(月)には豊明市の小浮正典市長が、それぞれご登壇され、各市の取り組みや学生に向けたメッセージを伝えてくださいました。

各市長、副市長は授業の前後に本学の後藤学長とも懇談を持たれ、各市と本学との協力関係についても改めて確認する良い機会となりました。



外国人児童生徒支援

外国人児童生徒支援リソースルーム フォーラム

12月15日(土)本学第二共通棟431講義室において、「義務教育から巣立つ子どもの未来を考えるー就学先の現状と課題ー」をテーマとした「外国人児童生徒支援リソースルームフォーラム」を開催しました。

このフォーラムでは、義務教育後の外国にルーツを持つ子ども達にスポットを当て、送り出し側として中学校の先生より、進学先として定時制高校の先生、全日制高校の先生、専修学校の先生、中学夜間学級の先生より各学校の課題と現状について報告をしていただきました。その後、6つのグループに分かれ、グループごとに設定されたテーマについてディスカッションが行われ、各グループからディスカッション内容の発表が行われました。「学校内でのキャリア教育や多様性を受け入れる学校づくりの重要性」を再認識できる場となりました。



外国人児童生徒支援リソースルーム 研修会・勉強会

8月9日(木)、本学第一共通棟210講義室において、「平成30年度 外国人児童生徒支援にかかる研修会」を開催しました。

今回は、「教科と日本語をつなぐ授業づくり～教科学習で支える子どもの発達と日本語力の向上～」をテーマにしました。子どもが教科の学びに参加することの大切さについて理解し、日本語と教科をどのようにつないでいくかを考える良い機会となりました。



また、10月29日(月)、本学第五会議室において、外国人児童生徒支援リソースルーム勉強会を開催しました。この勉強会は、今回が3回目になります。「もし自分が外国にルーツをもつ園児の先生になったら」

をテーマとし、将来外国にルーツをもつ子ども達とかかわる可能性が高い教員や保育士志望の学生が集まり、言葉を身に着けさせるためにはどのような活動をすればよいか考えました。



学生ボランティア派遣状況

外国人児童生徒の学習支援を行いながら、学生の学びの場・体験の場として、刈谷・豊田・知立・豊明の近隣4市の教育委員会や学校現場の先生方と連携し、活動を行っています。

平成30年度ボランティア実績

平成30年度ボランティア登録者数：330名

個別支援

	依頼小中学校数 NPO法人・教室等	学生ボランティア 派遣数	支援児童生徒数
刈谷市	17校	40名	42名
豊田市	12校	25名	26名
	保見中学校(学級)	1名	1学級
知立市	5校	22名	35名
	放課後支援教室みらい	1名	—
豊明市	1校	25名	21名
	NPO法人プラスエデュケート	10名	—

集団支援

	対象児童数	実施回数(年間)	ボランティア学生数
知立市立知立東 小学校マスマス教室	98名	12回	延べ170名
豊明市立双峰小学校 放課後日本語教室	約12名	13回	延べ148名

土曜親子日本語教室

実施回数	学習者		学生ボランティア	
22回 (前半14,後半8)	大人クラス	子どもクラス	大人クラス	子どもクラス
	303名	118名	112名	121名

リソースルーム案内

外国人児童生徒支援リソースルームでは外国にルーツを持つ子どもたちの支援や、関わる先生方などへの支援を行っています。教材・ガイドブックの作成や、学習支援に係るボランティア学生の指導・相談など、外国人児童生徒の学習支援に纏わる多様な業務を担っています。

外国人児童生徒支援リソースルーム

【開室】 月～金 → 12:30～17:30 (水は12:30～14:00)

TEL(0566)26-2219 FAX(0566)26-2566

E-mail gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp

URL <http://www.resource-room.aichi-edu.ac.jp/index.html>

ブログ <https://ameblo.jp/aikyodai-resourceroom/>

トヨタ車体環境学習プログラム

本学近隣の刈谷市東境町にあるトヨタ車体(株)「刈谷ふれ愛パーク」内には楽しみながら環境学習ができる場として水辺環境の復元を目指したビオトープがあり、本学教員、学生がビオトープの維持管理に関わっています。本学では、実習の一環として自然体験活動を取り入れております。今年9月にはこの「ふれ愛パーク」を活用し、本学の学生が環境学習プログラムを作成し、地域の子どもたちに実践しました。今回の環境プログラムづくりは、トヨタ車体(株)との共同企画で、企業や行政、NPO、地域、研究者との連携の中で行われる「社会に開かれた教育」を通して学生の自然体験スキルをさまざまな面から伸ばすプロジェクトの一環で行いました。



とよた子育て総合支援センター“あいあい”のリノベーションと木のおもちゃ設置に協力

11月23日(金)「とよた子育て総合支援センター“あいあい”」が豊田市産の木材をふんだんに使った空間に生まれ変わってリニューアルオープンしました。

豊田市産業部農林振興室森林課より協力依頼を受けた幼児教育講座の樋口教授が、リノベーションされることとなった“あいあい”の新しい空間デザイン案の作成に携わったほか、“あいあい”に設置する木のおもちゃのデザインを担当。新しくなった“あいあい”には、子どもたちが木に触れながら遊ぶことができる「よちよちゾーン」と「わんぱくゾーン」があり、毎日、多くの子どもたちが心地よい木の香りがする空間で、木のおもちゃを楽しんでいます。



角文の環境学習「川の学校」への参加協力

角文(株)は毎年、地元企業のCSR活動の一環として、逢妻川において地元の小学生と川の環境学習を行っています。今年は刈谷市立富士松南小学校の児童を対象に6月26日(火)に実施されましたが、そこに地元企業のCSR活動の体験調査・協力として本学の西尾ゼミ(経済学専攻、9名)が参加しました。前半は逢妻川の水質調査や流れの速さ、匂いなど川についての調査を行い、後半は川に入り生き物やゴミ拾いを行いました。児童たちは川の生き物の豊富さや、大量に出てきたゴミをみて、環境への意識を高めていました。参加した学生たちも、本学のロゴの入ったスウェットパンツで子供たちと一緒に川に入り、環境学習の現場を体験しました。



ユニー主催「子ども向け環境紙芝居コンテスト2018」において幼児教育選修2年生が入賞・入選

ユニー(株)主催の「子ども向け環境紙芝居コンテスト2018」において、幼児教育選修2年生の1グループ6名が企業賞受賞、2グループ10名が入選を果たし、10月18日(木)にユニー(株)の新しい本社で行われた表彰式において表彰されました。



この環境紙芝居は、ユニー(株)がESD(持続可能な開発のための教育)を取り入れた環境学習の一環として実施しているもの。学生たちは、自分たちでストーリーと絵を考えて制作した紙芝居をコンテストに応募。現在、ユニー(株)のホームページで公開され、またユニーなどの店舗でもお披露目されています。

大学の地域貢献

公開講座

愛知教育大学では、教育研究の成果を広く社会に還元する目的で、教員を対象とした免許法認定公開講座や専門性向上講座、教育委員会との共同開催で行う教員研修講座以外に、生涯学習の推進のため、一般対象として近隣市教育委員会と連携して行う連携公開講座や、学内開催の講座を各コース別に実施しています。

平成30年度の公開講座は、教員対象講座28講座、一般対象講座31講座を開設し、多くの方に受講いただくことができました。



平成31年度に開設する講座は、裏表紙の公開講座開設一覧または本学HP(下記URL)をご参照ください。
<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html>

AUE日本語指導講習

今年度、初めての試みとして、本学の日本語教育講座の教員が担当する「AUE日本語指導講習」を実施しました。座学による言語学や日本語学、日本語教育学の学びの後、一人3回(うち1回は見学)の実習を経験していただくものでした。



実習は、これまで継続して本学の学生が行っている「土曜親子日本語教室」の一つの教室を担当する形

で行いました。日本語が全くできないレベルのクラスで、学習者の国籍も、ブラジル、インドネシア、カンボジアと多彩で、何か共通の言語がある、という状況ではなかったため、日本語教育学の講義でお話した「直接法」を基本とした授業をしていただきました。11名の方がそれぞれ工夫された教案に基づいた授業で、とても楽しい講習となりました。講習後、修了認定証とコメントシートが受講された方々に送られました。

選挙出前トーク

本学と包括協定を締結している刈谷市との選挙啓発連携事業として、本学の学生が「選挙出前トーク」を実施しました。

この事業は、広義の「主権者教育」の一環として、児童生徒に選挙に関心を持ってもらうことを目的に、本学の学生が刈谷市内の小中学校に出向き、選挙に関する説明、模擬選挙などを行うものです。

昨年度までは、刈谷市選挙管理委員会職員のみで「選挙出前トーク」事業を行っていましたが、若い学生の意見を取り入れて行うことで、より児童生徒の選挙に対する意識が向上するのではないかと、今年度から、授業科目「教職実践演習」「比較政治学演習」などを受講している3、4年生が刈谷市選挙管理委員会と協力し、選挙に関する説明のパワーポイント資料や、模擬投票のための選挙公報を作成しました。

今年度訪問した学校は下記のとおりです。

- 11月 2日(金)刈谷市立朝日中学校
- 12月14日(金)刈谷市立富士松南小学校
- 12月19日(水)刈谷市立小垣江東小学校
- 2月12日(火)刈谷市立日高小学校
- 2月15日(金)刈谷市立双葉小学校
- 2月20日(水)刈谷市立かりがね小学校



あいちSTEM能力育成事業 「知の探究講座」

ものづくり愛知の未来を担う理数工学系人材の育成を目指し、STEM (Science、Technology、Engineering、Mathematics) 教育を推進するため、愛知県教育委員会と連携して「知の探究講座」を開催しています。

この事業は、愛知県教育委員会が中心となり、本学を含め県内の6大学が各キャンパスにおいて高校生を対象に特色あるプログラムを開設し、理数工学系の講義や実験・実習に取り組むものです。

今年度、本学は「生物多様性と地球と宇宙の探究」と題し、夏休みの6日間を利用し、タンポポのDNA鑑定、ナガバノイシモチソウの観察、地形や地質の観察、天体望遠鏡を使った実習等を取り入れた講座を実施しました。その学習内容を踏まえて、11月18日(日)に各受講生が興味を持ったテーマについてパワーポイントを用いた発表会を行い、「ツククサの生存戦略」、「星空観測と光害性の影響」をテーマとした2名が本学の代表者として選出され、1月12日(土)に名古屋工業大学で開催された全体発表会において発表しました。

受講生からは、大学での講義や他校の生徒との交流を通して、新たな知識を得ただけではなく、考察力、行動力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等、多くのことを学び、学習意欲も高まったと大変好評でした。



図書館キッズライブラリー 「なつこのおはなし会」

8月7日(火)～8日(水)に、附属図書館のキッズライブラリーで、地域の子どもたちを対象に「なつこのおはなし会」を初めて開催しました。このおはなし会は、附属図書館の呼び掛けで集まった近藤なつみさん(家庭選修3年)をはじめとする5人の学生が企画したもので、午前は6歳まで、午後は小学生までの子どもたちを対象に、計4回を実施し、生後5か月の赤ちゃんから小学生まで延べ26人の子どもたちとその保護者が参加しました。

学生らは、かわいい手遊びで子どもたちの興味をひきつけた後、おぼけや海、虫など夏らしいテーマの本の読み聞かせを行いました。話者が麦わら帽子をかぶったり、おはなし会のキャラクターであるなつこちゃんの人形を使ったりと、工夫がいっぱいのおはなし会でした。また、授乳スペースやおむつ替えスペース

も準備され、小さなお子さんへの配慮もありました。

おはなし会は終始くつろいだ雰囲気で開催され、子どもたちも保護者の方々もそれぞれのペースで楽しんだ様子でした。



アカデミックカフェ

アカデミックカフェは、本学における優れた特色ある研究成果を広く社会に還元することを目的に、飲み物を片手に気軽にアカデミックなひとときを過ごせる場として、一般の方を対象に開催している講座です。今年度は2講座を開催しました。

12月4日(火)に開催した第15回アカデミックカフェでは、家政教育講座 早瀬和利特別教授を講師に迎え、「タンパク質栄養学の基礎と脳機能における役割 -栄養素や食品成分により脳機能は変わる。脳にとって最適な食事内容とは何だろうか?-」をテーマに講演が行われました。

また、2月4日(月)には、技術教育講座 清水秀己特別教授を講師に迎え、第16回アカデミックカフェ「ものづくり やって見ないと分からない!!!～半導体薄膜作製を通して～」を開催しました。

どちらの講座も学内外から多くの参加があり、熱のこもった講演に聴き入る姿が見られました。



2019(平成31)年度 愛知教育大学 公開講座 開設一覧

●一般対象公開講座

種別	区分	講座名	開催日	
大学主催の公開講座	アカデミックコース	Pythonによるプログラミング入門	9月7日(土)	
		AUE 日本語指導講習	7月6日(土) 7月20日(土) 8月3日(土) 実習3回(10月~12月)	
	カルチャーコース	世界遺産を考える	6月23日(日)	
		ESDって何?SDGsって何?私たちの暮らしと持続可能な社会	7月13日(土)	
		3Dプリンタ入門講座	7月27日(土)	
		指揮法入門	8月28日(水)	
	高校生コース	日本語教育の世界を見てみよう	7月20日(土)	
		数の不思議	7月23日(火)・24日(水)	
		高分子の化学	7月31日(水)	
	小中学生・子育て支援コース	イタリア、日本歌曲の歌い方の基礎を学ぶ	8月24日(土)	
		親子で絵を描いて楽しもう	7月13日(土)	
		親子で神経系を整えましょう	7月20日(土)	
		夏休みの工作 グラスを作ろう(ガラス工芸)	7月20日(土)	
		次世代型学力「生きて働く力」につながる幼児期から児童期の学びと育ち	7月24日(水)	
			親子で楽しくボール遊びを体験しよう	12月7日(土)
共催公開講座	豊田市	災害による空気環境汚染と私たちの健康 ～がれきや倒壊建物にひそむアスベストリスクを回避するために～	8月19日(月)	
協定締結市との連携公開講座	刈谷市	家庭や近所づきあい役立つコミュニケーションのコツ	5月12日(日)	
		ドイツの教育事情	9月14日(土)	
		みんなのジェンダー論 ～身近な疑問から考えよう～	9月28日(土)	
		オープン粘土で干支づくり	10月12日(土)	
	知立市	天然記念物の保存と活用 ～カキツバタ群落の生物多様性を例に～	5月18日(土)	
		子どもと家族 ～子どもを育む家族関係～	8月31日(土)	
	豊明市	次世代社会をどう生きる?安全な情報コミュニケーション力を学ぼう!	7月6日(土)	
		長～い時間スケールで見る地球、生命、地球環境	11月9日(土)	
	安城市	子どもが「伸びる」ための子育てのポイント	6月8日(土)	
		かな書道入門(好きな言葉を色紙に書く)	8月16日(金)・23日(金)	
	碧南市	地獄絵のたのしみ	6月8日(土)	
		もうガンリン車には乗れない? ～環境科学と日常生活の関わり～	10月5日(土)	
	高浜市		日常生活のはてな? ～身の回りの科学技術のひみつ～	7月20日(土)
	みよし市	暮らしの中の民俗学 ～金魚・菊・朝顔を題材として～	9月21日(土)	
		西洋美術 ～絵画の見方～	10月26日(土)	
名古屋市		親子で学ぼう!「企業の社会貢献活動から将来の仕事を選んでみよう!」 「楽器で会話してみよう!」	7月6日(土)・13日(土)	

●教員対象公開講座

種別	区分	講座名	開催日
専門性向上講座		プログラミング入門 ～算数との関わりを中心に～	6月15日(土)
		プログラミング入門 ～小学校理科との関わりを中心に～	6月29日(土)
		小学校外国語評価演習	6月29日(土)
		中学校高等学校教員のためのPythonによるプログラミング入門	7月13日(土)
		海外の小学校英語の授業を見てみよう	7月20日(土)
		学校のデジタルメディア入門	8月22日(木)
		ネットいじめに悩む子どもへの接し方 ～教員に必要な8つの意識～	8月24日(土)
シリーズ講座		はがき新聞で高まる語彙力と表現力	6月29日(土)
		問題解決的な学習づくりに変える「四色板書」	7月6日(金)
		漫画で分かる! 学級力のススメ 教科力編	7月20日(土)
		学び合う力を高める学習スキル(話す・聞く・書く)	8月31日(土)
		子どもがワクワクするプログラミング授業づくり ～2020年度からの必修化に向けて～	9月28日(土)
		スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの有効な活用	8月24日(土)
共同開催事業	東三河地区	スクールリーダー研修 ～学校マネジメントと次世代の学校づくり～	6月15日(土)
	知多地区	「特別の教科 道徳」の授業改善のポイント	7月30日(火)
	海部地区	中堅教員研修 ～学校の推進力としてのミドルリーダー講座～	8月6日(火)
	シリーズ講座	教育委員等の研修講座「リーダーシップとカリキュラムマネジメント、次世代の学校づくりと地域学校協働活動」	8月5日(月)
		教育委員等の研修講座「学校における働き方改革、地方教育行政」	8月6日(火)
	教育委員等の研修講座「学級・学年経営の進め方、教育支援専門職との協働」	8月7日(水)	

免許法認定公開講座

区分	講座名	開催日	区分	講座名	開催日	区分	講座名	開催日
特別支援学校教諭一種・二種	知的障害者教育総論A	6月22日(土)・23日(日)	中学校教諭一種(外国語)英語	英語学B	8月8日(木)・9日(金)	中学校教諭一種(外国語)英語	英語文学C	8月26日(月)・27日(火)
	特別支援教育基礎論A	6月29日(土)・30日(日)		英語文学B	8月10日(土)・11日(日)		英語コミュニケーションC	8月27日(火)・28日(水)
	視覚障害者教育課程・指導法概論A	7月6日(土)・7日(日)		英語コミュニケーションB	8月10日(土)・11日(日)		英語科教育法B	8月30日(金)・31日(土)
	肢体不自由者教育総論A	8月27日(火)・28日(水)		異文化理解B	8月10日(土)・11日(日)		英語コミュニケーションA	12月14日(土)・15日(日)
	聴覚障害者教育課程・指導法概論A	9月7日(土)・8日(日)		英語学C	8月21日(水)・22日(木)		異文化理解C	12月14日(土)・15日(日)
	聴覚障害者心理・生理・病理概論A	10月5日(土)・6日(日)		生徒指導と進路指導	8月21日(水)・22日(木)		英語科教育法	12月14日(土)・15日(日)
	病弱者教育総論A	10月12日(土)・13日(日)		生活の指導と相談	8月23日(金)・24日(土)		英語学A	12月21日(土)・22日(日)
	重複障害者教育総論A	10月19日(土)・20日(日)		異文化理解A	8月25日(日)・26日(月)		英語文学A	12月21日(土)・22日(日)
	視覚障害者心理・生理・病理概論A	12月7日(土)・8日(日)						
	知的障害者教育総論I	12月14日(土)・15日(日)						
	LD等教育総論A	1月11日(土)・12日(日)						
	養護学級 学校保健学特論	8月7日(水)・8月8日(木)・8月9日(金)						